

# 一歩踏み出す勇氣

市シルバー人材センターに登録した。義母の介護をきっかけに長年勤めた仕事をやめ、7年ぶりの社会復帰になる。義母をみとり、夫の闘病を支え、孫の世話に明け暮れる毎日だった。今春、孫が大学進学で家を離れた途端、何だか気が抜けたようになってしまった。そんな時、広報で募集記事を見つけたのだ。

一変し、仕事の段取りを考えたりいろいろな人と会話したりすることで、頭と体の運動にもなっている。

家族に「いってらっしゃい」「おかえり」を言うだけでなく、自分が「いってきます」と出掛け「ただいま」と帰る懐かしい生活のリズム。よもや自分が「シルバー人材」になる日が来るとは思わなかった。短時間ではあるが無理はせず、健康に気を付けながら張り合いのある生活が続けていきたい。一歩踏み出す勇氣を持ってよかったと思う。

登録してもすぐに仕事があるとは思っていなかったが、運よく清掃の仕事を紹介された。最初は不安や緊張で続けられるか心配だったけれど、仕事にもだいぶ慣れてきた。単調な毎日

(西条市 長尾 栄子 67)

歳・パート)